

令和 7 年 7 月 29 日
大阪市在宅医療推進会議資料
一部改変

令和 6 年度

大阪市域における在宅医療・介護連携推進事業 の取組について

大阪市における在宅医療・介護連携推進事業のめざすべき将来像

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種協働により在宅医療と介護を一体的に提供できる体制が構築されている。

大阪市在宅医療・介護連携推進事業～取組体制～

区役所
を中心に事業実施

ア 地域の医療・介護の資源の把握

イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

力 医療・介護関係者の研修

キ 地域住民への普及啓発

健康局
を中心に検討

在宅医療・介護連携相談支援室
を中心に事業実施
(地区医師会等に委託)

ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

エ 医療・介護関係者の情報共有の支援

オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援

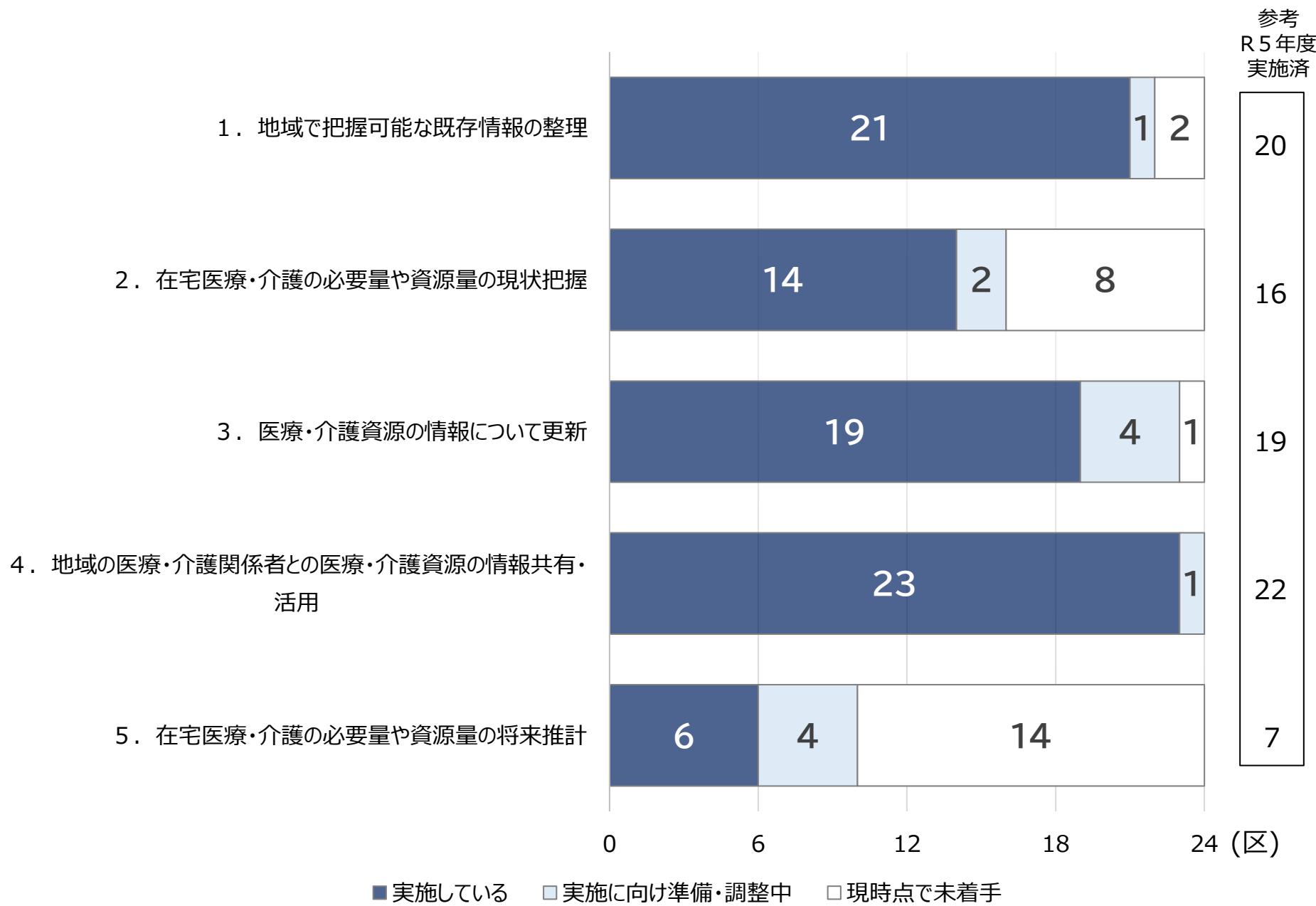
連携



ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
総合事業など他の地域支援事業との連携 等

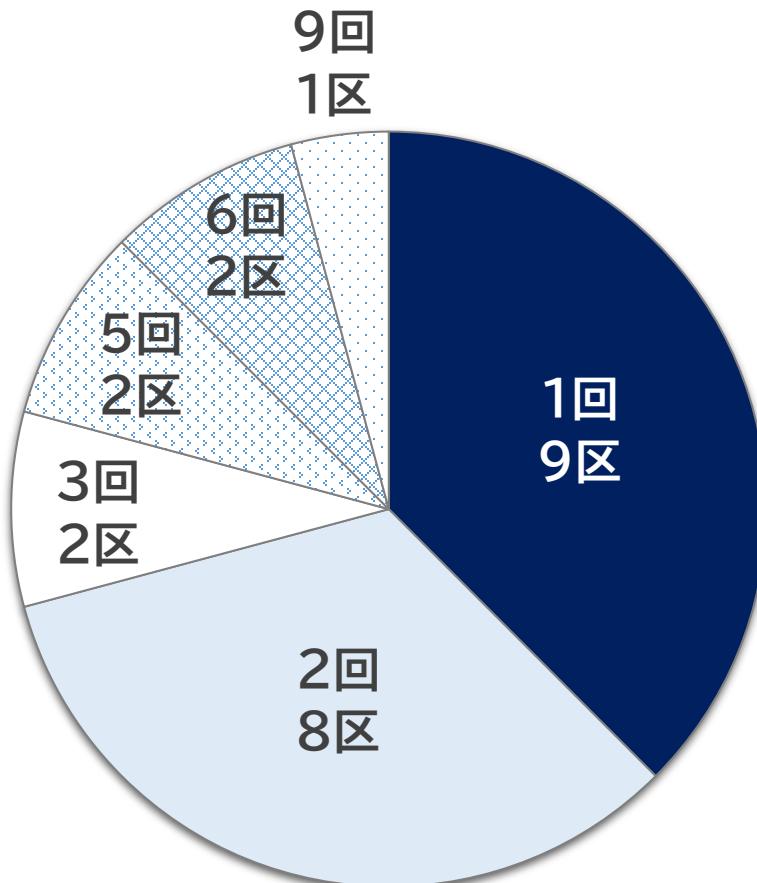
I . 区役所の取組

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(1) 事業の進捗や課題について協議した回数

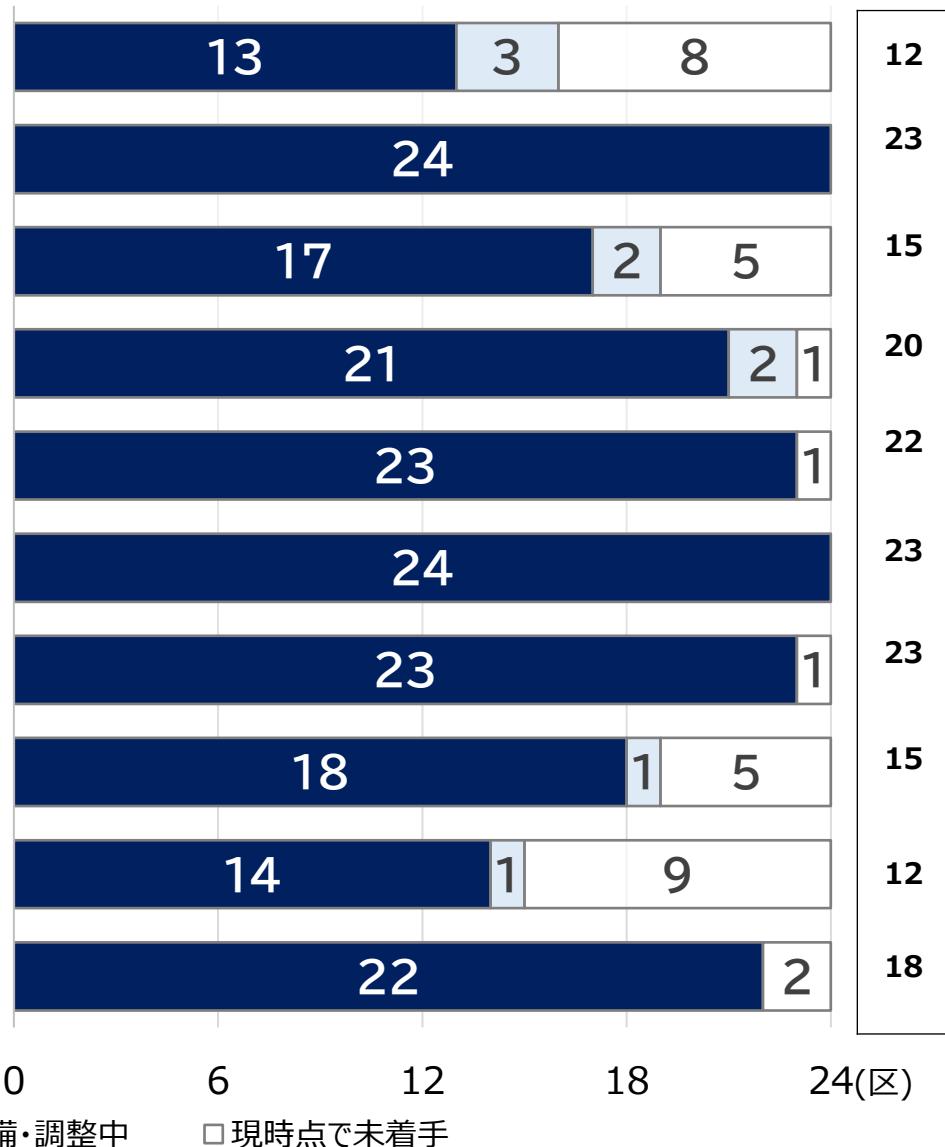


【開催した区数】 令和5年度：23区 ⇒ 令和6年度：24区

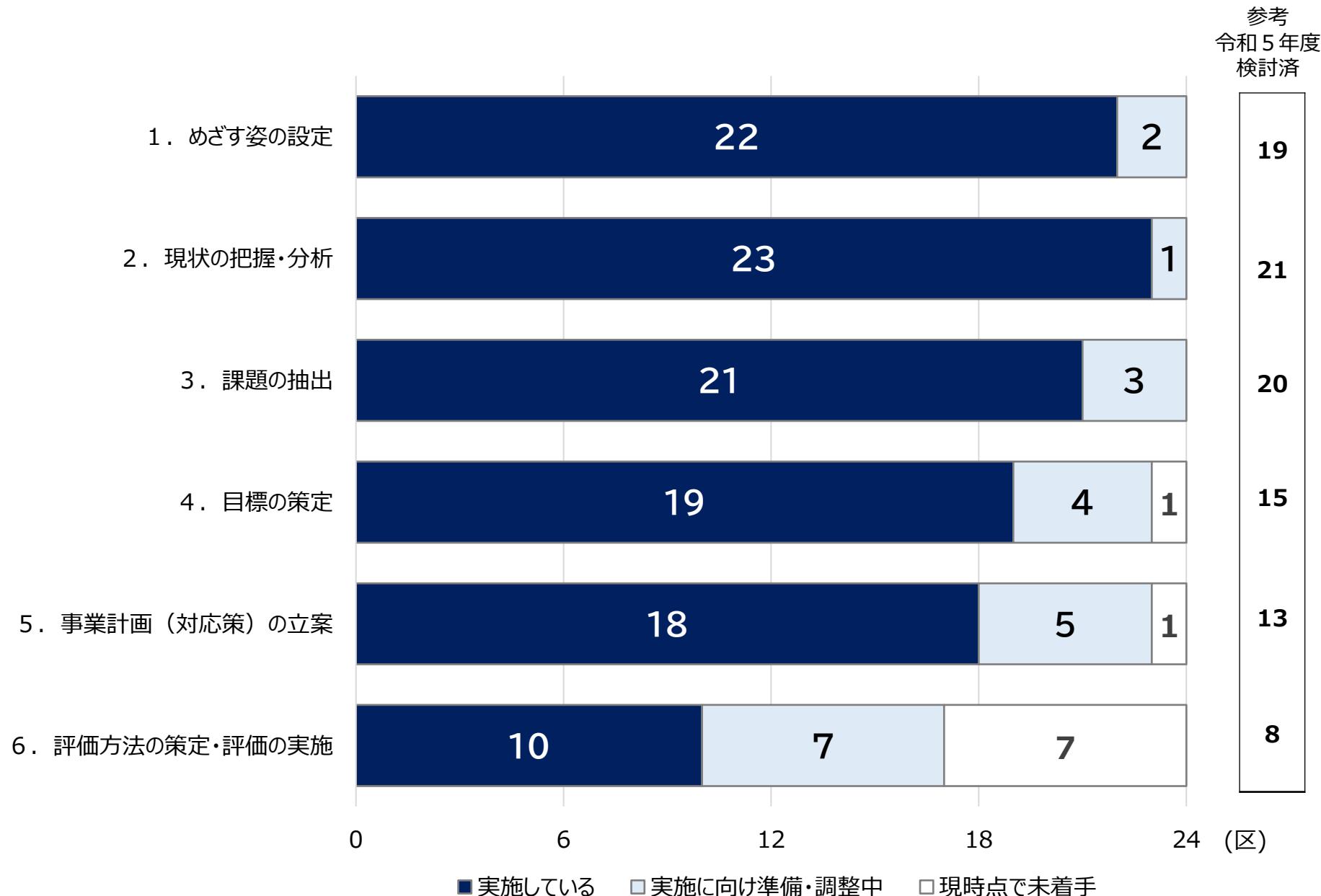
(2) 推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

参考
令和5年度
検討済

1. 地域の医療・介護にかかる資源の充足状況
2. 在宅医療・介護連携の取組の現状
3. 情報共有のルールの策定
4. 切れ目のない在宅医療・介護連携の提供体制の構築
5. 医療・介護のネットワークづくり
6. 医療・介護の関係者やその連携担当者の顔の見える関係づくり
7. 地域住民の普及啓発
8. 地域における在宅医療・介護連携に関する目標の設定
9. 地域における在宅医療・介護連携の取組の評価
10. 在宅医療・介護連携推進事業の進捗管理



(3) PDCAサイクルでの事業の進め方



(4) 具体例

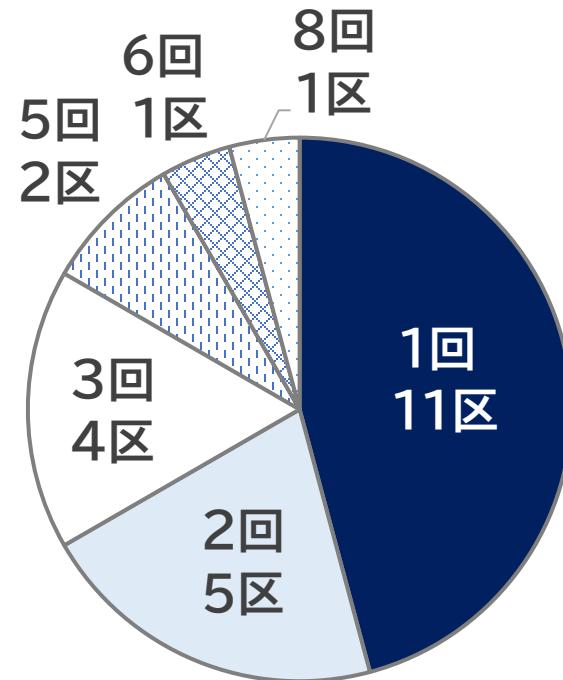
1. めざす姿の 設定

- 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを可能な限り続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進
- 多職種連携・各関係先とのつながりの強化を最優先課題とし、定期的な会議や、共通の催しを通じてお互いの理解を深めていく
- 本人の意向を大切にする在宅医療・介護連携体制の推進
- 独自のICTシステムに、より多くの医療・介護従事者が参画し、相互にリアルタイムに患者情報の共有や相談を行うことで、医療・介護を必要とするより多くの市民への支援を迅速・的確に行えるようにする

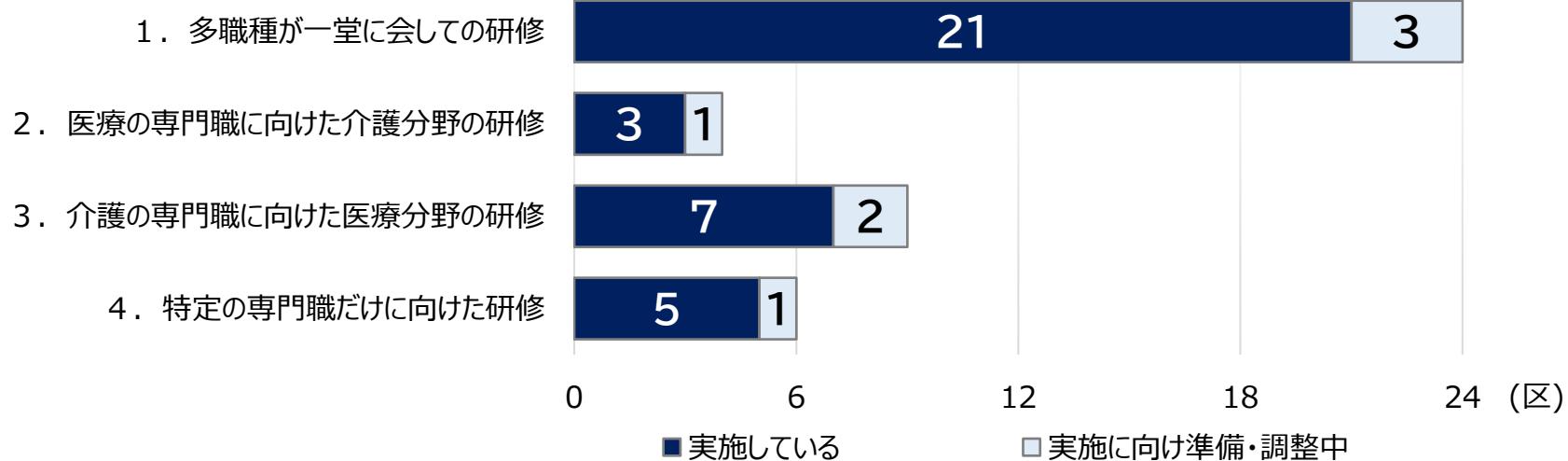
	3. 課題の抽出	5. 対応策の立案
#1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種連携が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職・介護職お互いの職務内容紹介 ・ 連携の課題 他職種の交流（勉強会、意見交換会など）を増やす ・ 他の職種、他の機関に出向き、実際にどのようなことに直面して困るのか確認する
#2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退院支援の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各関係機関の課題を抽出し、連携シートを作成
#3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療や介護の情報が乏しく、セルフネグレクトも多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民向け講演会の開催 ・ かかりつけ医MAPの作成、配布
#4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACPの認知度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACPに関する講演会等を実施し、区民や専門職へ理解を深められるよう働きかける ・ 広報紙やSNS等での啓発

(力) 医療・介護関係者の研修

(1) 研修会の実施回数



(2) 研修会の対象者

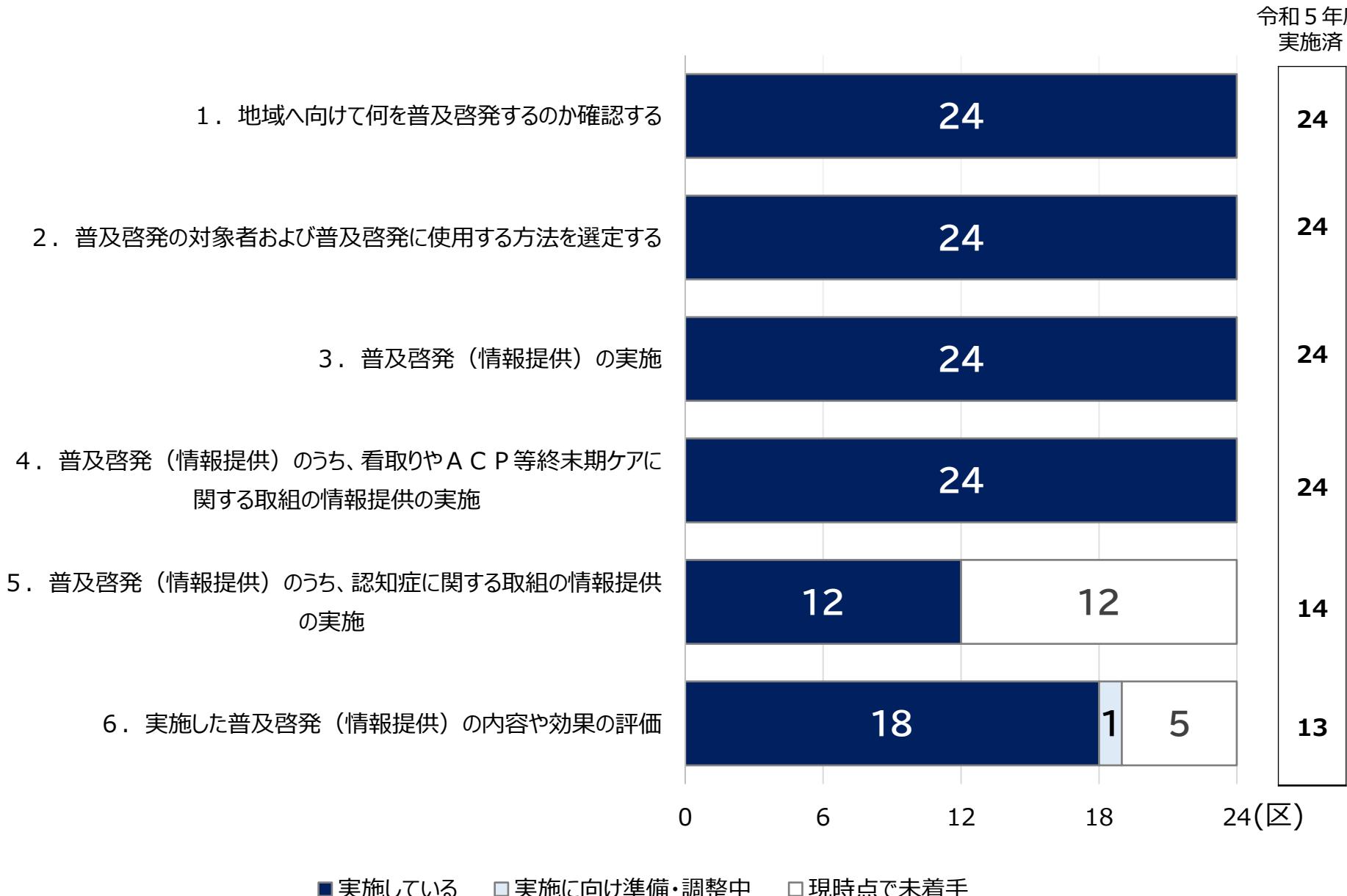


(3) 研修会のテーマ

ACP	<ul style="list-style-type: none">いざというときに困らないために看取りのプロから学ぶ専門職のためのACP講座日々の支援から気づく「もしさばな」を多職種でつなげようグリーフケア、看取り
認知症	<ul style="list-style-type: none">認知症になっても安心して外出ができる〇区に認知症支援における免許返納地域で支えるMCI軽度認知症
医療	<ul style="list-style-type: none">超高齢社会における歯科の役割救急医療における医療・介護連携
その他	<ul style="list-style-type: none">ICTを用いた医療と介護の連携災害時の迅速な情報共有のあり方虐待防止に関して多職種がどう関わればいいのか

(キ) 地域住民への普及啓発

令和5年度
実施済



(1) 11月強化月間における人生会議（ACP）の取組

人生会議（ACP）強化月間の取組調査より集計

	取組内容	強化月間 11月の取組	R5強化月間 11月の取組
情報発信	区広報誌・紙	16区	9区
	区ホームページの掲載	18区	2区
	SNSを活用した情報発信	9区	1区
	ポスター・リーフレット等配架、配布	14区	2区
講演会等	区民向け講座・講演会	11区	9区
	区民向け動画・映画上映会	8区	3区
	イベント開催	3区	1区
	専門職向け研修会	3区	1区
合計		82区	28区

※ 1区あたりで複数の取組計上あり

SNSを活用した情報発信 9区

活用媒体	実施
X	6区
L I N E	5区
F a c e b o o k	3区
I n s t a g r a m	1区

区民向け動画・映画上映会 8区

内訳	実施
映画上演会	2区
You Tubeによる動画配信	1区
健康展等のイベントでの上映	5区

イベント開催 3区

内容

スーパーでリーフレットの配布とACPノート紹介コーナー

人生ゲームカードを使って、「もしも」に備えよう

各種イベントで来場者への「人生会議」アンケート実施（8回）

専門職向け研修会 3区

テーマ

日々の支援から気づく「もしさばな」を多職種でつなげよう

～希望に沿った人生最終段階の医療・ケアのために～

人生会議をどうやってすすめていくのか「おじくじ研修会」

多職種研修会「認知症の人や障がいのある人とともにACPを考える」

(2) 普及啓発の具体例

ホームページ

淀川区 yodogawa ward

Language English 中文简体 한국어 其他

A 文字サイズ 大

Google 提供

トップ 著らしの情報 お知らせ・イベント 安心・安全

トップページ > 著らし > 健康・医療 > 在宅医療・介護連携の推進 > 在宅医療・介護連携の推進について

ページ番号: 464703 2024年10月30日

いつまでも住み慣れたわが家・わが町で安心して暮らしていくために

淀川区では、医療や介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・住まい・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するため、在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいます。

廣報紙

中央区

**医療や介護が必要になっても
あんしんの中央区**

在宅医療・介護連携の推進に取り組んでいます

中央区では、医療や介護が必要な状態となってしまっても住む慣れた地域で、自分らしい暮らしをできるまで頑張ることができるよう、医療・介護・暮らし・介助・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するため、在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいます。

あなたの人生を支える中央区の仕組み
～地域包括アシストシステム～

区民

医療

- 病院
- クリニック・診療所
- 専門病院
- 専門施設
- 訪問看護ステーション
- その他の医療機関など

相談 支援室

- 地域包括支援センター
- 介護立場支援相談室
- 所内介護相談室
- 訪問看護相談室
- 介護保険相談室
- その他の介護連携体制など

介護

年齢は関係ありません、やってみましょう

人生会議

人生会議とは、希望する医療やケアについて前もって話し合い、家族や医師などと共有しておくことです。

団塊から考えたり、話し合いたてりおくことで、あなたが自分の気持ちを話せなくなる「もしもの」ときに、あなたの心の声を伝えるかけえりのないものになり、あなたの大切な人の心のご負担を軽くするでしょう。

Step 1 人生の希望や目
標・思いについて
考えてみましょう

Step 2 健康について日々の確認できま
す主な医療機関を持
てましょう

Step 3 病気になったら…ではなく、
なる前に!
大変になると伝えあさせたい、
聞いてあせき、大変なこと

Step 4 Step ③で選んだ人、あなたの希望や想いを話し
きめよう

Step 5 「もしものとき」あなたの希望や想
いを伝えてくれるときをひめしょ

新規になる医療機関や介護事業所は【中央区住んしんマップ】に掲載中!ぜひご利用ください!

商合セ 保健福祉課(健康推進)1南11番 03-6267-9882 03-6267-0998

西淀川区

11月30日は
人生会議の日です

人生会議

を
知ってますか?

人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)とは、「もしものとき」に備えて、あなたが望む医療やケアについて前もって話し合い、家族や大切な人と共有しておくことです。もしものときのために、あなたの大切な人と話し合っておきましょう。

*人生会議は個人の主体的な行いによって考え方、進めるものです。知りたくない、考え方のない方への十分な配慮が必要です。

圆 健保福祉課 健康推進グループ 2階25番
TEL 06-6478-9882

人生会議を詳しく知りたい方は

YouTube
に～よん劇場
人生会議編

徳に～よん参考書
人生会議
(アドバンス・ケア・プランニング)編

QRコード

西成圖

SNSを活用した情報発信

住之江区

大阪市住之江区役所
@suminoe_sazapy

11月30日は「人生会議の日」です 🌸

#人生会議 とは、もしもの時に備え、周りの人と「自らが望む医療やケア」などを話し合い、共有する取組です 😊
この機会に「もしもの時」を考える「人生会議」をしてみませんか？

詳しくはこちら 📱

 city.osaka.lg.jp
ACP（アドバンス・ケア・プランニング）「人生会議」をご存じない方のために「人生会議」毎年11月30日（いい取り・看取られ）を、「人生会議の日」として、厚生労働省...

午前10:30・2024年11月27日・222件の表示

多職種研修会

旭区



多職種研修会
認知症になつても
安心して外出ができる旭区に



日 時：令和7年3月25日(火) 14:00～15:30

会 場：旭区民センター小ホール

お申込：参加申込書(別紙)でお申込みください

主催：旭区保健福祉センター / 旭区在宅医療・介護連携相談支援室

在宅医療普及促進事業
おじくじ研修会
あなたの未来を、あなたが占う
・おじくじ(御自籠)・

旭区医師会では在宅医療普及促進事業の一環として、「おじくじ」というおみくじのような「くじ」の使い方研修会を開催しています。あなたの未来を、あなたが占う「おじくじ」。あなたの価値観・考え方について思いを巡らせ、周りの人と気軽に語らうツールです。「くじ籠」の販売(兼)も行っています。あなたの近くで、人が集まるところで置いてみませんか？

開催日時／場所
2025年2月28日(金)
13:00～14:20
専門職向け開催
旭区民センター大ホール
TEL 06-6955-1451

主催：旭区医師会、旭区在宅医療連携拠点、旭区保健福祉センター
共催：旭区在宅医療・介護連携相談支援室、大阪市旭区社会福祉協議会、あさひ看CANネット、あさひケアネット

平野区

R7
3月1日(土)
14:00-16:00
平野区民ホール
(平野区平野南1-2-7)

参加無料
ACP、人生最期の話って
実際どうやって
声をかけたらいい?
ひとり様の支援
どうしたらいい?

いざというときに困らないために
看取りのプロから学ぶ専門職のためのACP講座

平野区在宅医療ケアネットワーク委員会
専門職セミナー

臨床宗教師から学ぶ、人生最期への備え
龍谷大学文学部文学研究科 教授 森田敬史 先生

明日から役立つ！ACP（人生会議）の実際
司法書士サニー法務事務所 司法書士 坂本洋二 先生
医)千わたの花 井上クリニック ケアマネジャー 門村奈津恵 先生

こちらから申込 ➔
申込期限：2月22日(土)まで
または裏面によりFAX

お問い合わせ 平野区保健福祉センター（地域保健）06-4302-9882

区民向け研修会・講演会

西成区

令和6年度 西成区在宅医療介護連携推進事業 講演会

自宅で受ける医療や介護について —西成でずっと生きるために—

医療や介護が同時に必要な時に4割の人が住み慣れた「自宅」で過ごしたいと答えています。
ひとり暮らしでも家族がいても、自分のケアは自分で決めることが大切です。元気なうちから、自分が受けたい医療や介護について考えてみませんか。

とき：令和7年2月19日(水)
14:00～16:00
ところ：西成区民センター・ホール

無料申込不要
定員 残り100名
手話通訳あり

身近な相談窓口紹介
「あなたのまちの総合相談窓口です」
西成区地域包括支援センター
西成区障がい者基幹相談支援センター
シンボジウム
「もっと知りたい在宅医療や介護のこと」
座長 西成区医師会
美濃クリニツク 美濃和人 先生
シンボジスト 医療・介護の専門機関
参加団体 西成区医師会、西成区歯科医師会、西成区薬剤師会
西成区訪問看護ステーション連絡会、西成区地域包括支援センター連絡会
西成区福祉事業者連絡会
西成区民と医療・介護協議会
西成区役所、西成区在宅医療・介護連携推進会議
お問い合わせ：西成区役所保健福祉課（保健）TEL. 06-6659-9882

阿倍野区

区民向け講演会のお知らせ

阿倍野区でいつまでも自分らしく暮らすために

参加費無料
申し込み不要
定員150名
(先着順)

手話通訳あり

[日時] 令和7年3月16日(日)
14:00～15:30
[会場] 阿倍野区役所2階大会議室
(阿倍野区文の里1-1-40)
※お車でのご来場はご遠慮ください

第1部
講演 フレイル予防
～豊かに暮らすシニアライフの備え～
講師：大阪公立大学看護学部 地域包括ケア科学分野
教授・博士（保健学）河野あゆみ先生

第2部
各関係機関紹介
・阿倍野区地域包括支援センター・訪問看護ステーション
・在宅医療支援診療所・訪問歯科・在宅支援薬局

パネルディスカッション
地域で支える在宅医療

【主催】
阿倍野区在宅医療・介護連携推進会議 [阿倍野区医師会、阿倍野歯科医師会、
阿倍野区歯科医師会、阿倍野区在宅医療・介護連携推進支援室、阿倍野区病院連絡会、
阿倍野区訪問看護ステーション連絡会、阿倍野区在宅介護支援事業者連絡会、
地域包括支援センター(阿倍野区北部・阿倍野区中部・阿倍野区)、阿倍野区役所]

お問い合わせ 阿倍野区保健福祉センター(地域保健) TEL 06-6622-9882

東住吉区

令和6年度 東住吉区在宅医療・介護連携推進 区民フォーラム

これでスッキリ人生会議

~自分の人生をどう生きたいか~

在宅療養すると費用が高くて? もやもや解消!

入場無料 申込不要

人生的最期をどこで迎えたいかと聞かれて、ふと頭をよぎる疑問…。
そのもやもやを解消して、人生会議に進んでみませんか。
どこでどんな医療やケアを受けていいのか、どう生きたいのか、前もて身近な人達と話し合こと、それが「人生会議」です。

[日時] 令和7年2月8日(土)
14:00～16:00(開場13:30) [場所] 東住吉区民ホール
(東住吉区東田辺1-13-4)

第1部 創作落語「天国からの手紙」
第2部 講演「これでスッキリ人生会議
～自分の人生をどう生きたいか～」
(筆記具進呈)

講師 天神亭きよ美
(生島 清身) 氏
社会人落語家・行政書士

注意 お会いは全部無料です。
お問い合わせください。

主催 東住吉区在宅医療連絡会
大阪市東住吉区役所、東住吉区医師会、東住吉区歯科医師会、東住吉区薬剤師会、
東住吉区ナース連絡会、東住吉区内勤農園会連絡会、
東住吉区内構施設連絡会、東住吉区本町連絡会、東住吉区役所

問合せ 東住吉区役所保健福祉課(保健)
06-4399-9882

イベント

港区



ポスター・リーフレット等

住之江区

平野区

みんなで皆さんの生活を支えます!

在宅医療・介護連携相談支援室

【地域の医療・介護関係者などからの高齢者等にかかる在宅医療・介護の連携に関する相談等を支援するために、「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置し、在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置しています。多職種間の連携調整、必要に応じた情報提供等を行うことにより、多職種間の円滑な相互理解や情報の共有を行える体制を構築することを目指しています。

住所:〒559-0015
住之江区南加賀屋2-1-24住之江区医師会館内
電話:06-6683-6380 FAX:06-6683-6381

地域包括支援センター

高齢者のみなさまの暮らしや介護のご相談は

住之江区地域包括支援センター (さざなみ)

【担当地域】新北島・平林・住吉川・住之江・清江
住所:〒559-0013
住之江区御崎4-6-10
電話:06-6686-2235
FAX:06-6686-2122

加賀屋・粉浜地域包括支援センター

【担当地域】粉浜・北粉浜・加賀屋・加賀屋東
住所:〒559-0007
住之江区粉浜西2-7-21
電話:06-7670-1777
FAX:06-7670-1778

安立・敷津浦地域包括支援センター (特別養護老人ホームいわき園)

【担当地域】安立・敷津浦
住所:〒559-0015
住之江区高島屋3-9-2
電話:06-6683-6650
FAX:06-6683-6658

さきしま地域包括支援センター

【担当地域】南港光・南港桜・南港みなみ
住所:〒559-0033
住之江区南港中2-1-99
ショピングセンターかーと横2階
電話:06-6569-6100
FAX:06-6569-6102

令和7年3月作成

医療と介護であんしん生活!



そこで!

住み慣れたまちで、自分の家で暮らし続けたい…
在宅医療と介護の専門職が連携して地域で暮らす高齢者を支えます

在宅医療・介護連携の推進



平野区はあなたの

人生会議(ACP)を推進します

本日のテーマ ACP
人生会議

- 将来はどこに住む?
- 介護は誰にお願いする?
- 資産はどうする?
- 延命治療って何?



「人生会議」とは、これから的人生をどう生きるのかを考える「あなたの自身の会議」です。医療・介護・住まい・お金のこと等年齢問わず、誰にも必要な「人生会議」この機会に一緒に考えてみましょう!

私たちも応援します

発行: 平野区在宅医療ケアネットワーク委員会・平野区役所
お問合せ: 平野区役所保健福祉課(地域保健)32番窓口

TEL 06-4302-9882

令和7年2月発行

北区

お名前: _____ 性別: 男・女

生年月日 S-H 年 月 日

住所: _____

電話番号: _____

(令和 年 月 日作成) 懐した人: _____ (継続)
(令和 年 月 日作成) 懐した人: _____ (新規)

緊急連絡先: 関係(紹介)

お名前	電話番号	継続

かかりつけ医

病院名	電話番号	かかりつけの病院

担当ケアマネジャー(介護保険利用者)

お名前	電話番号	事業所名

(表面)
令和7年版

私の人生会議

〈お薬手帳カバー〉



制作: 大阪市北区在宅医療・介護連携推進会議
(連絡先: 北区役所健康課 06-6313-9882)

「私の人生会議」とは

もしも延命措置などが必要になったとき、どのような医療を望むのか。

元気なとき、自分の気持ちを伝えられるときに、ご自身で考え、ご家族にお話をしておくことが大事です。

前もって考え、周囲の信頼できる人たちと話し合い、共有しておこなうことを人生会議(ACP:アドバインス・ケア・プランニング)と言います。

将来、医療や介護を行うものに、あなたの思いを伝える「私の人生会議」を作成しました。

お薬手帳のカバーとして、ぜひご活用ください。

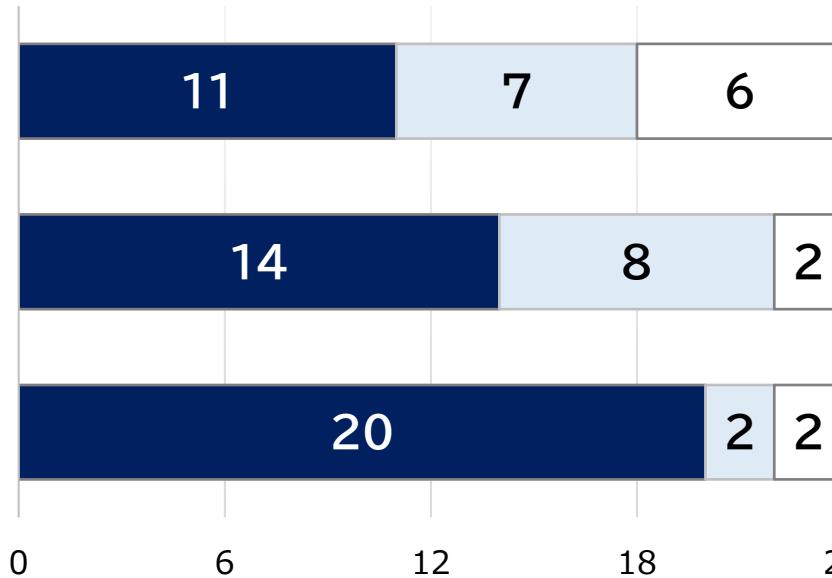


II. 相談支援室の取組

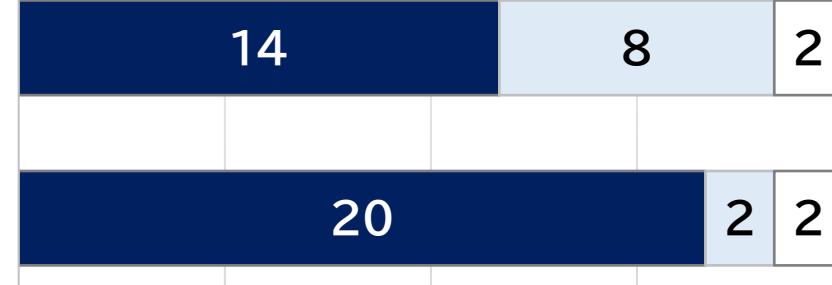
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

令和5年度
実施済

1. 在宅療養中の患者・利用者に対する主治医を含む複数の医師による対応体制などの取組



2. 在宅療養中の患者・利用者に対する、急変時診療医療機関を確保する（後方病床の確保等）取組



3. 在宅療養中の患者・利用者に対する、訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護ステーションとの連携体制の構築に向けた取組



「4つの場面」を意識した取組状況について

1. 日常の療養支援



2. 入退院支援



3. 急変時の対応



4. 看取り

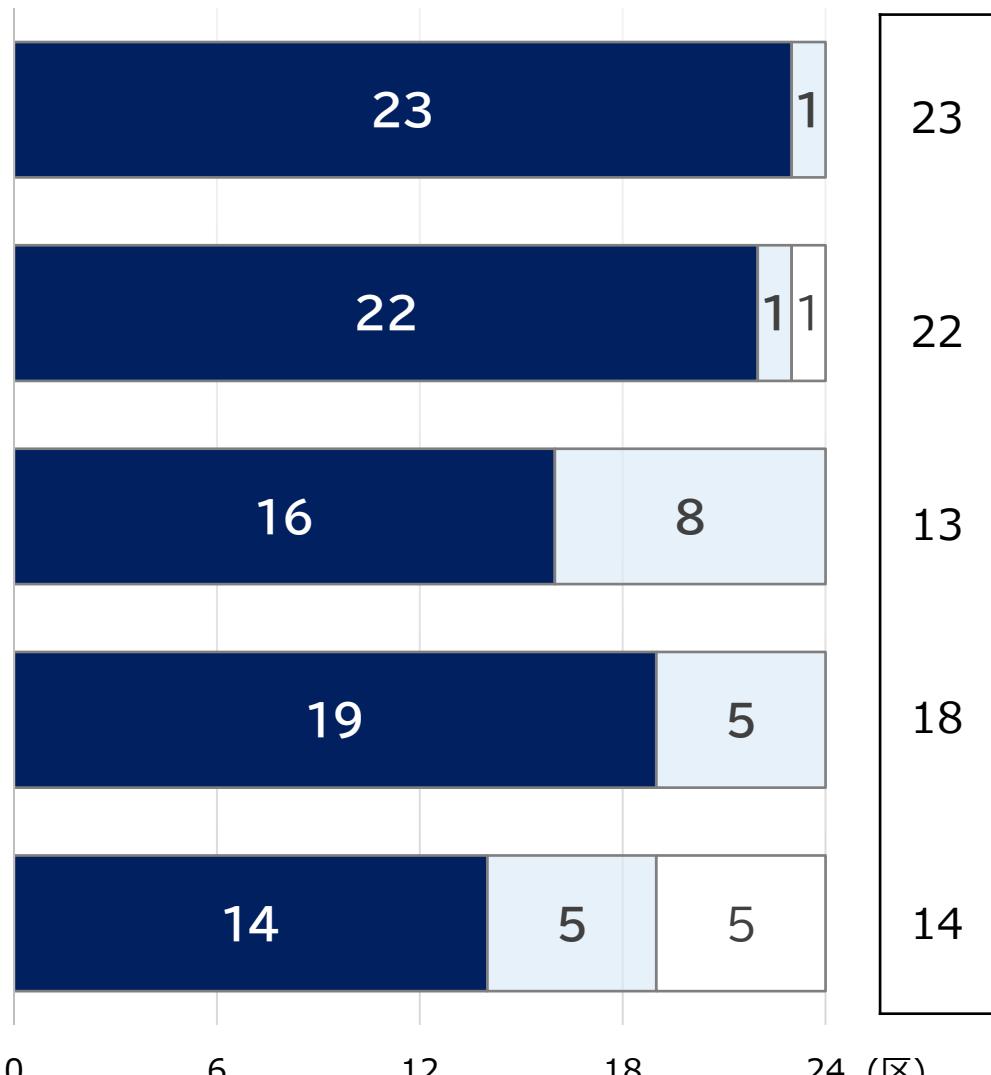


■ 実施している □ 実施に向けて準備・調整中 □ 現時点では未着手

(工) 医療・介護関係者情報共有の支援

令和5年度
実施済

1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法についての検討



■ 実施している

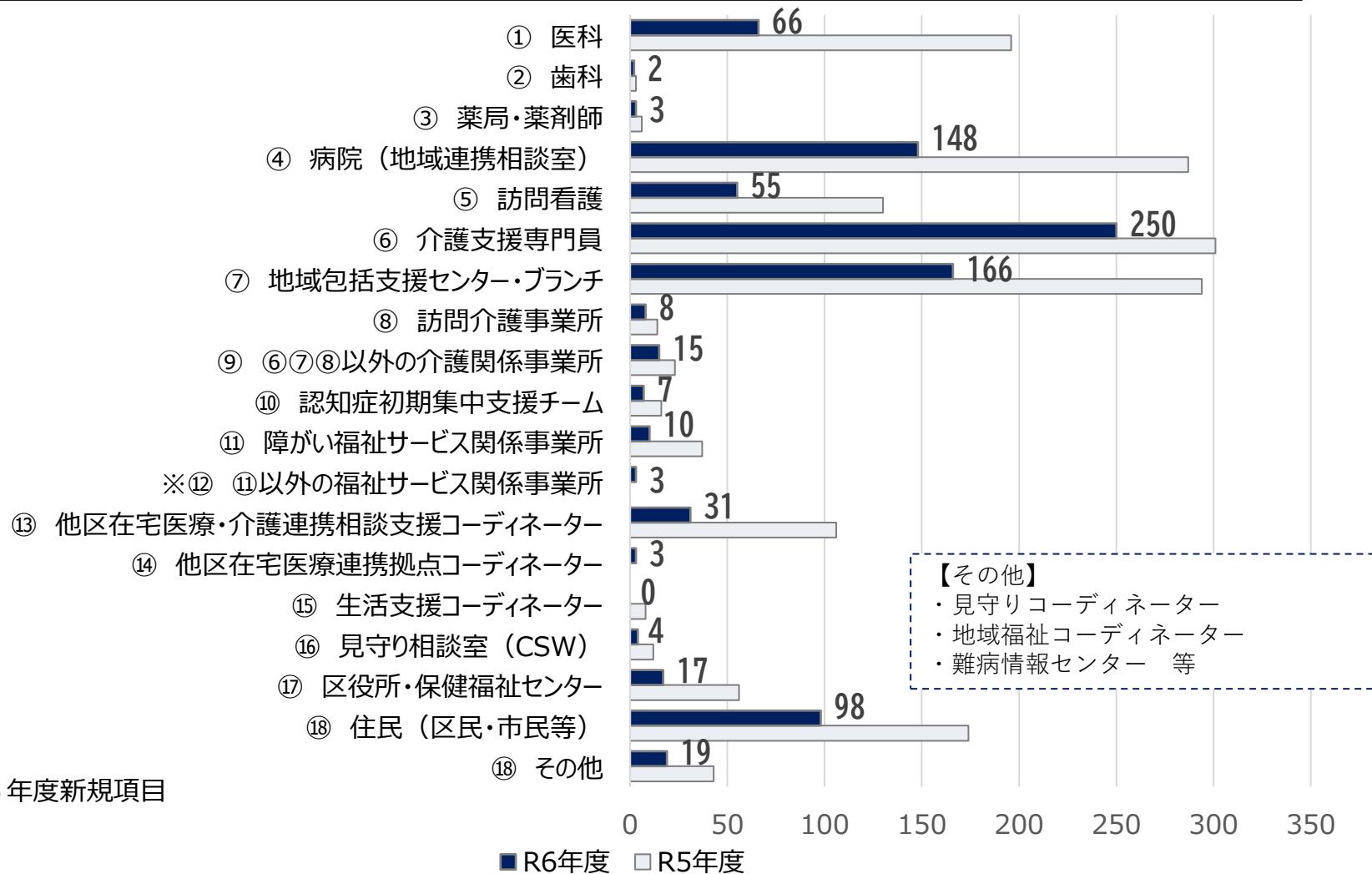
□ 実施に向けて準備・調整中

□ 現時点では未着手

(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 905件※（参考：R5年度 1,706件）

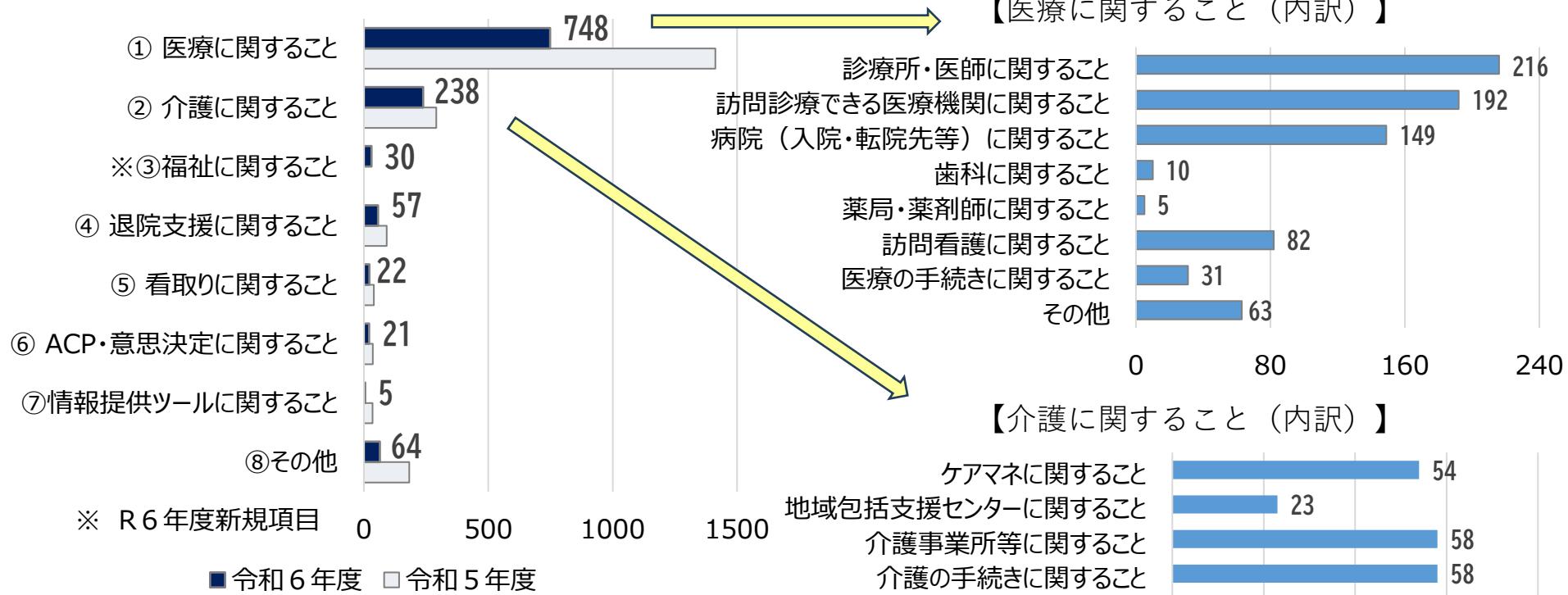
※介護保険対象者のみの集計に変更



※ R6年度新規項目

介護支援専門員、地域包括支援センター・ブランチ、病院（地域医療連携室）からの相談が多い

【個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）】



会議・研修会等への参加

	令和5年度	令和6年度
会議出席回数	2,505	2,211
市・区の会議、研修会	829	641
関係機関との会議、研修会	1,557	1,570
(再掲) 地域ケア会議	119	139

III. 健康局の取組

1. 事業の進捗管理

(1) 在宅医療推進会議、部会：在宅医療・介護連携推進会議

(2) 区役所・相談支援室への取組調査

(3) 大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する医療施設等アンケート調査

(1) 在宅医療推進会議 令和6年9月6日

主な議題：①在宅医療・介護連携推進事業について

- ・区役所・相談支援室の取組について

- ・健康局の取組について

- ・医療施設等アンケート調査の実施について

②在宅医療連携拠点事業について

部会：在宅医療・介護連携推進会議 令和7年2月5日

主な議題：・区役所・相談支援室の上半期の取組について

- ・人生会議（ACP）強化月間の取組について

- ・健康局の取組について

(2) 区役所・相談支援室への取組調査

事業の取組状況について区役所、相談支援室へ年2回/調査を実施

(3) 大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する医療施設等アンケート調査

調査概要：在宅医療・介護連携推進事業の現状把握に努めるとともに、医療と介護の連携のうえでの課題整理と事業評価の基礎資料とする目的に、医療側に着目したアンケート調査を実施した。

調査期間：令和6年10月30日～12月6日

回収方法：郵送、FAX、Web、メールのいずれかの方法

対象施設	対象数	回収数	有効回答数	有効回答数/対象数
病院	173	107	107	61.8%
在宅療養支援診療所	747	460	460	61.6%
在宅療養支援歯科診療所	340	196	195	57.4%
在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局	1,654	1,251	1,251	75.6%
訪問看護ステーション	777	494	494	63.6%
合計	3,691	2,508	2,507	67.9%

2. 広域連携の仕組みづくり

(1) 多職種研修会

(2) 市民への人生会議（ACP）の普及啓発

(3) 大阪市『在宅医療・介護連携相談支援室』活動報告会

(1) 多職種研修会

目的：区域を越えた専門職の連携の強化

さまざまな職種の専門職が職種を越えて交流し、その職種ならではの視点・役割・重要性を知る機会とする

内容：急変時対応に関するテーマとする

北・西ブロック 『アドバンス・ケア・プランニング

－患者の意向を尊重した医療・ケアのために－』

講師 筑波大学 医学医療系 臨床医学域（緩和医療学）

教授 木澤 義之 氏

（参加者 120人）

東・南ブロック 『多職種で取り組もう！人生会議（ACP）』

講師 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

総合ヘルスプロモーション科学講座 教授 神出 計 氏

（参加者 141人）

(2) 市民への人生会議（ACP）の普及啓発

目的：大阪市全体として人生会議（ACP）の認知度を向上させる

取組：①11月を人生会議（ACP）強化月間として全区での取組を支援

②局主催の人生会議（ACP）普及啓発セミナーの実施

講義、VR体験（救急医療における心肺蘇生、生きとし生けるもの）、グループワーク
(参加者 99人)

③ホームページの作成、ポスターの作成と掲示

(3) 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」活動報告会

目的：切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制の構築のため、相談支援室の周知を図り、広域的な医療・介護関係機関との連携推進を促進する

内容：『在宅医療・介護連携相談支援室』の活動報告

・特別講演『今後の在宅医療・介護連携推進事業の深化を探る

～在宅医療の現場から見た在宅医療・介護連携の未来予想図～』

講師 医療法人社団 オレンジ 理事長 紅谷 浩之 氏

・大阪市内「在宅医療・介護連携相談支援室」の活動報告

(参加者 137人)

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

(1) 区役所への支援

(2) 相談支援室への支援

(3) 区役所と相談支援室の支援

(1) 区役所への支援

①在宅医療・介護連携推進事業 区担当者等説明会

目的：本事業の概要や各区役所、各区相談支援室及び健康局の役割と連携体制について知識を深めるとともに、各区の取組を情報共有することにより、より一層事業への理解を深め、地域での連携を推進する。

内容：在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業の進め方について
区担当者間の情報共有（グループワーク）(参加者 42人)

②区役所への個別支援

- ・取組調査等により現状と課題を把握し、必要な区へ個別支援実施
- ・電話等において、適宜相談支援

(2) 相談支援室への支援

- ①在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会、情報交換会
- ②相談支援室への個別支援
 - ・相談支援室への訪問
 - ・電話等において、適宜相談支援
 - ・新任コーディネーターへの支援

(3) 区役所及び相談支援室への支援

- ①区担当者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

目的：地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、区担当者や在宅医療・介護連携支援コーディネーターのスキルアップを図る。

第1回：『医療・介護は令和6年度どう変わる？』

講師 株式会社 富士通総研 行政経営グループ チーフシニアコンサルタント/
公共政策研修センター 上級研究員 名取 直美 氏
(参加者 73人)

第2回：『在宅医療・介護連携推進のための地域診断

～評価の視点を踏まえた事業推進～』

講師 梅花女子大学 情報メディア学科 教授 綾部 貴子 氏

(参加者 48人)